

群私幼

No.
1
6
5

2014年(平成26年)1月23日発行
群馬県私立幼稚園協会

発行人 原 徳明

編集人 高月 広喜

群私幼事務局/☎371-0854 前橋市大渡町1-10-7
群馬県公社総合ビル6F 私学センター内
TEL.027-280-6206
FAX.027-280-6208
URL・http://www.gunshiyou.jp/



もちつきをする子ども達 「おもちつきって、たのしいね～ はやくたべたいな」

平成26年度 教員免許状更新講習 受講対象者について

平成26年度教員免許状更新講習の受講対象者は、普通免許状または特別免許状を有し、平成27年3月31日が修了確認期限となる方と、平成28年3月31日が修了確認期限となる方が対象となります。修了確認期限を必ず確認してから申し込んで下さい。

平成27年3月31日が修了期限の方

生 年 月 日	
昭和34年4月2日～昭和35年4月1日	
昭和44年4月2日～昭和45年4月1日	
昭和54年4月2日～昭和55年4月1日	
修了確認期限	免許状更新講習の受講期間
平成27年3月31日	平成25年2月1日 ～平成27年1月31日

平成28年3月31日が修了期限の方

生 年 月 日	
昭和35年4月2日～昭和36年4月1日	
昭和45年4月2日～昭和46年4月1日	
昭和55年4月2日～昭和56年4月1日	
修了確認期限	免許状更新講習の受講期間
平成28年3月31日	平成26年2月1日 ～平成28年1月31日

※群私幼では、現時点で夏の中級・上級講座ならびに研究委員研修会において、それぞれ6時間分の選択講習に充当させる予定です。また、県内の教員養成系の大学・短大等で実施される所があります。詳しいことは、各自で問い合わせして下さい。

ニューリーダー

会員園視察研修会

11月14日に保育部会を中心に昨年度改築工事が竣工したばかりの二子山幼稚園で会員園視察研修を開催しました。9時半から今井園長先生に園舎を案内していただき、建築に込められた思いや、意図された効果を知ることができました。平日ということもあり、その環境の中で子ども達が生き生きと生活する姿が印象的でした。また事務長先生に改築工事の過程や園児や保護者への配慮を映像で説明していただき、誠意ある対応が大切であることを学びました。

(山王幼稚園 関口智行)



CONTENTS

- ② 祝 2014年 新春に寄せて
* 原 徳明 群私幼協会会長
* 中村弘子 学事法制課長
- ③ まなざし
私のとおきおきの時間
- ④ 幼稚園訪問記
* こだま幼稚園
ほへえみインタビュー
* 元景幼稚園
- ⑤ 連載「フロムぐんまちゃん」
私の園のフォト日誌
* こひつじ幼稚園
情報アラカルト
* ひかり幼稚園
- ⑥ 編集委員の雑記帳
- ⑦ 幼児教育センターの保育相談 Q&A
たより
研修だより
* 新採研(後期I)(10/30)
* 教育課程研究協議会(11/1)
* 設置者・園長研修会(11/19・20)
- ⑧ 2014年 お年玉クイズ
編集後記

創立65周年を迎えて

(社)群馬県私立幼稚園協会 会長

原 徳 明



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。
群馬県私立幼稚園協会は今年創立65周年を迎えることができました。長い歴史を積み重ねるだけでも本当に有り難いことですが、私ども群私幼はその上に、研修スタンスをオーガナイズし伝統として継承し、また、時代の変化に即して、その時々新たな役割の担い手として、社会の要請に应运してきました。この大きな節目を皆様とご一緒に迎えるにあたり、群私幼の素晴らしい歴史の積み重ねを共に共有できたことは、大変意義深いことであります。

県下123園が一同団結した群私幼が、関東地区はもちろん全国的にも注目を集めているのは、先輩諸先生方の叡智と、私立幼稚園に対するためまない努力と、子ども達に向けた深い愛情であり、しかもそれが脈々と今も時代を超えて受け継がれているからなのではないでしょうか。
今年は午年、「午」は「杵(きね)」の象形文字で、「つきあたる」や「さからう」の意味があり、安易な行動によって思わぬ結果に翻弄されないよう用心しなければなりません。「子ども・子育て支援新制度」の準備が進められ、幼児教育に係わる施設が

変化していく波立つ年になることは確実です。その中で、子どもの最善の利益の為に私達を守るべきものは、学校教育としての幼児教育が確実に推進されることです。
今後も永年の努力により築かれてきた群馬県当局との信頼・協力・連携関係はもちろん今まで以上に重視することは言うまでもありませんが、それに加え各市町村対応が重要となることを加盟園の設置者・園長先生方も充分にご認識いただき、先々の局面に本協会がさらに一枚岩となつて臨んでいただきますよう心よりお願い申し上げます。

祝二〇一四年 新春に寄せて

新年のごあいさつ

群馬県総務部学事法制課長

中 村 弘 子



新年あけましておめでとうございます。
群馬県私立幼稚園協会の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年中は、私立幼稚園関係者の皆様には大変お世話になりました。学事法制課長着任以来、各種研修会や会議等で、多くの先生とお話をし、幼児教育の状況を拝見させていただく中で、皆様が幼児教育に惜しみなく情熱を注がれることと、幼児教育の重要性を改めて実感いたしました。平成27年度から開始が予定される

「子ども・子育て支援新制度」により、私立幼稚園を取り巻く環境は大きく変化しようとしておりますが、まだまだ未決定な部分が多く、平成27年度以降について不安を感じる園も多いと思います。今年度中には関係省令が公布され、来年度の早い段階で公定価格の骨格が提示される予定であり、これにより新制度に関する議論は加速度的に進むことが予想されます。
県といたしましては、幼児教育の重要性に鑑み、私立幼稚園を支援すること、ぐんまの子ども達の健や

かな育ちに寄与できればと考えております。群馬県私立幼稚園協会の皆様には、未来を担う子ども達のため今後ともご尽力をいただければ幸いです。
本年もよろしくお願い申し上げます。



まなぞし

私の幼児教育論

「幸せの幅を広げる心を育む」

七日市幼稚園長 榎本 美佳

近年では様々な面での経験不足やメディアとの接触が増えたことによる、子ども達とのコミュニケーション力の低下などが問題視されています。また学力向上を目指すために、小中学校で心や協調性を育てる行事がカットされていることにも寂しさを感じます。

幼児期の子ども達にとって大切なことは「豊かな心を育てる」ことではないでしょうか。優しさ、強さ、

美しさなど目に見えない心は、人間の芯の部分であり人生の土台の部分になると私は考えています。知識を詰め込むように言葉や文字で教えることができない難しさがありますが、幼稚園にいる短い時間の中で心の基礎を培うために何ができるか、どうしたら良いかを日々職員と考えているところです。遊びの中で子ども達同士が交わす心のキャッチボールはもちろん大切ですが、園外に出て群馬県の雄大で美しい自然に触れたり、ドキドキわくわくをキーワードにした保育などにより、心が動かされる活動や経験を大切にしています。また、どんな時でも出来る限り子ども



達の心に寄り添うことを職員で心がけています。喜びや感動、悲しさや痛みなど、心のバリエーションを豊かに持ちそれを他者と分かち合ったり、自分の夢へと変えていくことができる人になって欲しいと願っています。豊かな心は自分自身も多くの幸せを感じとって生活ができ、言葉とともに人と人を繋ぐことができるものだと思うからです。

「豊かな心を育てる」ことは当たり前のようでいて、でも本当に難しいことですが、私の中で変わることなく一本の大きな柱として今後も幼児教育にあたっています。「強く正しく 明るく 元気に」心も体も育てば、子ども達が自信と夢をもって生きていけると信じて。

櫻丘幼稚園

園長 北原 美知子

「私のとっておきの時間」って何だろうとしばらく考えてしまいました。とっておき？どんな意味なのか調べてみると「大切にしまっておくこと」とありました。自分なりに理解し、自分にとって大切なものの、癒されるものと考えてみました。

私は猫が大好きです。今、3匹の猫がいます。3匹のうち2匹は、15年は過ぎていた長老の猫です。残る1匹は、2年前の10月、年長組の園外保育の日、登園して

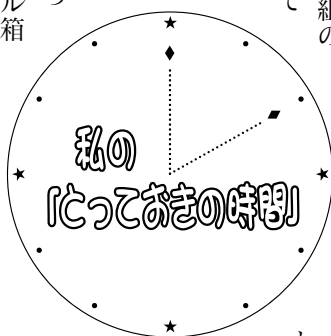
くる園児の後についてきたのです。なぜか園内に入ってきたのです。

その猫は、可哀想なくらいやせ細っていました。

猫好きな私としてはほっとけないのです。段ボール箱に入れ出られないようにしてから

園外保育にでかけました。園に戻り箱の中を覗いてみると、可愛らしい目で見つめているのです。もう決まりです。家に連れて帰りました。「ポンタ」と名前をつけ、ポンタ中心の毎日が始まりました。あれから2年大きく成長しました。

仕事で疲れ家に帰ると、私の車のエンジン音がわかるらしく玄関までお出迎えしてくれるのです。玄関を開けると「ニャー、ニャー」と足に擦り寄



り絡みついてくる、「かえってきたよ」と優しく声をかける。ご飯を与えしばらく見守る。満足そうな顔を見るとほっとする。私が行く方行く方ついてくるので嬉しい、癒されるという時間だ。私に懐いてくれていることが一番だ。この子達も好きな人はわかる、相手によって対応の仕方が違うのだ。普段、いないのはわかっているのに休みの日は、安心して居る様子で甘えた声をだし、行く方に必ずついてくる、だからたくさん遊んであげるのである。こんなにつたりとした気持ちになれることは、仕事ではない

と思う。この子達と一緒に過ごす時間が、ほっとする私なりのおきの時間なのかもしれない。



明るく整った環境で体操をする園児達



「おはようございます」と元気に挨拶をしてくれました。自分から挨拶をすることで積極性を身に付けているそうです。

こだま幼稚園では、ヨコミネ式教育法を取り入れた保育を行っています。そこには「子どもの運動能力を高めたい・体が育たない・心も育たない」という園

朝夕の冷え込みが一段と厳しくなった11月中旬、高崎市下豊岡町にある「こだま幼稚園」を訪ねました。

平成18年に改築された園舎は、こだま幼稚園の名前の由来になっている「ひびきあう」からガウディの曲線をイメージに設計されているそうです。広い廊下とたくさんの窓ガラスが印象的で、温かい光の中でのびのびと子ども達は過ごしていました。園内を歩いていると子ども達があちこちから「おはようございます」と元気に挨拶をしてくれました。自分から挨拶をすることで積極性を身に付けているそうです。

幼稚園訪問記

シリーズ

KINDERGARTEN (88)

「幼稚園は子ども・母親・先生を育てる場」・「人間関係の基本や昔からの伝統を幼稚園で教えていきたい」と優しく穏やかな笑顔でお話してくれた北村園長先生。

園長先生からたくさんのお話を聞いてみると、とてもおもしろい感じがしてきました。こだま幼稚園は完全手作り給食で、冷凍食品は一切使わない給食を毎日作っているそうです。手作りの温かさ・出来立ての温かさに子ども達も笑顔で食べていました。

こだま幼稚園を訪ねさせていただき、その特色の一部を垣間見る事ができました。



(丸山・三津田・北原/記)

園長先生に見守られ一生懸命走る子ども達

こだま幼稚園の巻
(高崎市)

広い静かな園庭に素敵なデザインの園舎

長先生の運動プログラムに対する思いがあつてのことだそうです。体操をしているところを見せていただきましたが、ブリッジや倒立などに子ども達は自信に満ちた表情で取り組んでいました。保育室には体操の目標が貼られており、逆立ち歩き10mの記録には驚きました。「継続は力なり」で、入園した時は全く出来なかった子ども達が幼稚園での毎日の積み重ねで出来るようになり、高い目標に向かって頑張っているそうです。また、園内に温水プールがあり、1年間水泳指導を行っているそうです。クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライまで泳げると聞き、子ども達の持っている力の素晴らしさを感じました。

①幼稚園の先生になった理由は？
私自身が末っ子なので、年下の子のお世話することに憧れていました。小学生の頃、近所の子達と毎日のように遊ぶ中で、「小さい子のお世話をするのが楽しい」と思い始め、幼稚園の先生になろうと心に決めました。

②忘れられないエピソード

手によくメモ書きをしてしまうのですが、1年目で担任した、今は小学校5年生の子達がそれを覚えていて、園の前を通りかかると、未だに私の手をチェックしています(笑)。そんな小さなことでもよく覚えていたのだと驚かされます。

③自園の一言PR(プチ自慢)

小規模な園なので、職員皆で園児のことを把握し、包み込むことができる「アットホーム」な環境の下で、伸び伸びと過ごすことができます。また、園が小学校の近くにあり、登下校の際に通りがかった卒園児と触れ合えます。

④休日の過ごし方

休日にはあまり動きたくなくなってしまう…家でのんびりしてしまいがちですね。

ほほえみ
インタビュー (38)

元景幼稚園 教諭 大山 真利

または、小学生の頃から続けている吹奏楽の練習をしているので、「平日は仕事、休日は音楽」の日々を送っています。

⑤教諭として心がけていること

経験年数が一番多いということですが、このような役をいただいています。まだまだ自分に自信はありませんが、他の先生達の手本となるように、日々努力をして、その背中を見て感じてもらえたらと思っています。

⑥今、気に入っているおすすめのもの？

絵を描くのが苦手です。友達に教えてもらった「ボールペンイラスト」の本を、しばらくは本屋さんで立ち読みしていましたが、先日ついに購入しました！幼児に絵の描き方を教える時にも結構役に立つと思いますよ。



県からのタイムリーな話題

「保育士資格」取得の特例について

平成27年度から開始が予定される「子ども子育て支援新制度」において、保育園連携型認定こども園は学校教育と保育を一定的に提供する施設とし、配置される教員は「幼稚園教諭免許」と「保育士資格」の両方を有する「保育教諭」であることが必要となります。

このことから、平成25年8月8日から平成32年3月（予定）までの間、免許・資格の併有を促進するため、幼稚園教諭免許所持者に対し、保育士資格取得のための特例制度が設けられました。本制度は、幼稚園等において「3年以上かつ4320時間以上の実務経験」を有する方であれば、誰でも利用することが出来ます。（※ただし、実務経験をされた施設による「実務証明書」が必要となります。）

保育士資格取得の具体的な方法としては、「筆記試験によること」と「科目履修によること（筆記試験免除）」の2通りがあり、科目履修によることであ

れば、保育士養成施設において必要科目を履修いただき、諸手続を経ることによって保育士資格の取得となります。

また、従来から幼稚園教諭免許所持者に対する保育士資格取得のための優遇制度はありましたが、筆記試験であれば（従来）7科目の合格→（特例）6科目の合格、科目履修であれば（従来）34単位履修→（特例）8単位履修と、取得がより容易となっておりますので、保育士資格の取得を検討されている方は、本制度を積極的にご利用いただければと思います。

保育士資格取得の特例について、詳しくは厚生労働省のホームページで確認ください。

(http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/hoiku/tokurei.html)



私の園のフォト日記

こひつじ幼稚園の巻 「自分史上最高の焼き芋」

11月の下旬に、園の庭で焼き芋を行いました。園児一人一人がていねいに芋を洗って、濡れた新聞紙でくるみ、さらにアルミホイルで包みます。さて、これをどこで焼くのかというと、お手製のドラム缶を加工した焼き芋器で、燃えたもみ殻の中で焼くのです。ポンプで空気の量を調整して、最適な温度を保ち、焼き上がるまでに約40分。とりだしてすぐは熱くてなかなか皮がむけないけど、中から出てきた芋はまるでアメのように輝いています。食べればもちろん甘さが最高です。焼き芋はいろいろ焼き方がありますが、これが自分史上最高の焼き芋です。普段食が細い子もたくさん食べています。

（茂木／記）



情報アラカルト

お父さん達が「木製ままごとキッチン」作り

太田市のひかり幼稚園（枝井瑞枝園長）で、お父さん達がプロ用の工具を使用して、群馬県産材のスギを使った「ままごとキッチン」（幅180cm、高さ90cm）作りを行ない、幼稚園に贈った。幼稚園では「お披露目式」の後、園児が大喜びで、ままごと遊びを楽しんでいる。沼田市発知新田町の工務店「斉藤林業」（齋藤英之社長）が、子ども達に本物の木材の香りや温かさに触れながら、友達同士で関わり合って、ままごと遊びを楽しんでもらおうと、建築材や家具材の端材で作った木製のままごとキッチンセットを製作して県内の幼稚園・保育園に寄贈している。希望される幼稚園は、斉藤林業まで連絡を下さいと話している。

（TEL 0278-504118）



東部地区担当(えのき幼稚園) 河上 崇



広報編集協力委員を務め3年目となりました。これまでいくつかの園に訪問させていただき、園長先生のお話や子どもの様子、園舎など普段は見ることはできないところを見ることができ、とても参考になりました。広報委員は情報を伝える立場なのですが、自分に役立つ情報が多く得られることに感謝しております。

今年度は広報委員も顔ぶれが変わり、また新たな気持ちでがんばり、各園の先生方に楽しみにしてもらえ、充実した広報になればと思います。

東部地区担当(こひつじ幼稚園) 茂木 直



前回の雑誌帳を書いたからあつという間に2年が経ちました。その間にLINEやツイッター、フェイスブックなど多くのツールが台頭してきましたが、私はやはりアナログな紙の記事の方が落ち着きます。自分のペースで読めるという安心感や自ら意識して情報を得るという満足感が違うと思います。デジタルの情報は、向こうから飛び込んでくる感じで落ち着きません。ますますスピードが求められている現代ですが、たまにはほんわかとした記事も書きたいなあと思うこの頃です。我が家で飼っているワトリが卵を産む瞬間を見ている子どもの眼のまんまるさですごくいい！私の中のほんわか情報です。

東部地区担当(きざきまち幼稚園) 木部いずみ



今年度から広報編集協力委員になりました。わからない事はかりで戸惑うことも多いのですが、人との出会いを大切に、そして、楽しみながら、先生方の心に残る広報を作れるよう、微力ではありますが頑張りたいと思います。私の趣味は、鉄道マニアである小4の息子と一緒に電車を見に行ったり、乗ったり、写真を撮ったりすることです。今度の夏休みには、カシオペアに乗って、北海道に行けたらいいなあ、と思っています。

中部地区担当(明星幼稚園) 熊田 俊道



編集委員の委嘱を受け3期5年目を迎えました。この間、各園園長先生はじめ諸先生方には、ご多用のなか取材や原稿執筆に快くご協力いただき、深く感謝申し上げます。群私幼広報は今回で第165号となる大変歴史ある広報です。その間携わられた歴代編集委員先生方の労苦を想像しますと、このお役の責任の重さを感じ身が引き締まります。微力ですが、楽しい紙面作りのお手伝いを通して、県幼稚園教育振興のために少しでも貢献できればと思っております。今期も変わらぬお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

中部地区担当(湊川大島幼稚園) 近藤 栄美



広報編集委員もあつという間に2期目に入りました。緊張して参加していた会議にも少しずつ慣れ、現在もたくさん勉強させていただいています。個人としてはほえみインタビューもやらせていただき、大変記念になりました。前回にも書かせていただきましたが、自分の考えや思いを文章にすることの難しさを感じていますが、微力ながらも今後も頑張っていきたいと思っています。一人でも多くの人に楽しく読んでいただくと嬉しいのです。

編集委員の雑誌帳

広報編集協力委員はこんな方々です

西部地区担当(すみれ幼稚園) 丸山 香積



広報協力委員として声を掛けていただいているから、はや3期目となりました。

幼稚園訪問記では、行事等でお忙しい中にもかかわらず、園長先生に丁寧な楽しく園の案内や教室・保育素材の説明をうけながら見学をさせていただきました。

たくさんさんの園を見学させて頂くことが自分にとって、とてもかけがえのない良い体験となりました。これからも学ばせていただいたことを生かして伝えられる様に、今期も広報活動のお手伝いをさせていただきます。

西部地区担当(堤ヶ岡幼稚園) 三津田敬子



広報編集委員をさせて頂き、3期目を迎えました。取材や原稿のお願いをする時の緊張感、快くお引き受けいただいた時の嬉しさ、幼稚園で働いているだけでは出来なかった経験をさせていただいています(笑)。

今年度から今まで頼りにしていた先輩が退任され、不安もありますが、編集委員の仕事を通して自分も成長していけたらと思っています。

3期目も精一杯頑張りますので、よろしく願っています。

西部地区担当(櫻丘幼稚園) 北原菜美子



今年度より、広報編集委員を務めさせて頂くことになりました。私につとまるかどうか不安でしたが、先輩達にアドバイスをたくさん頂き、頑張っています。他園に幼稚園訪問に行き、いろいろな話を伺うことができました。編集委員ならではの体験をすることができいろいろと勉強になりました。

これからも、少しでも力になれるよう頑張っていきたいと思っていますので、よろしく願っています。

中部地区担当(清心幼稚園) 栗原 啓祥



初めて広報委員を引き受けさせていただきました。

まだ右も左もよく分かりませんが、これまで同様、会員の皆さまが読んで楽しい、愛される紙面づくりを目指していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

幼児教育センターの 保育相談Q&A

連載 13

群馬県総合教育センター
幼児教育センター長

都丸 千寿子

Q 4歳児を担当しています。けん
かも多く、気に入らないと友達
に手を出したり悪口を言ったりする
子があります。将来いじめの子になら
ないか心配です。いじめの子になら
ないようにするには、幼児期にどの
ようなことに気を付けて育てること
が必要でしょうか。

A 4歳ですと、仲間とのつながり
が強くなる一方、けんかも増え
てきます。まだ自分の思いが言葉に
ならないこともあり、手が出てしま
うこともあります。いじめについて
は、幼児期に見かけることはほとん
どないと思いますが、将来子ども達
をいじめの被害者・加害者・傍観者
にしないためには、次のようなこと
に気を付ける必要があります。

○友達とのかかわりを大切にし、相
手の思いに気付けるようにしまし
よう。

幼児期には遊びの中で友達と触れ
合ったり考えを伝え合ったり、時に

はぶつかることがあってもその中で
友達の思いに気付けるようになるこ
とが大切です。そのためには、イメ
ージが共有できる遊びに取り組める
ように環境を構成したり、幼児同士
の思いを伝え合えるよう援助をし
ていきましょう。けんかがあつたらそ
れを友達の思いを学ぶ良い機会と捉
え、お互いの気持ちを伝え合わせる
中で、思いやりの気持ちを育むよう
にしましょう。

○体験活動を大切にし、道徳性や規
範意識の芽生えを培いましょう。

様々な体験をする中で、友達と仲良
く遊ぶために守らなければならない
ことがあることに気付き、物事の善
悪を判断する力が育ちます。指導が
必要な時に教師は、子どもの思いを
汲み取りながらも、自分のしたこと
がどんな困った結果を生むのか、友
達にどんな悲しい思いや嫌な思いを
させることになるのかを考えさせ
たり伝えたりするなど、幼児の心が育
つよう働きかけていきましょう。

○一番大事なものは、周りの大人の意
識や対応の仕方です。

「また○○ちゃん：困ったわね」な
どと言つてはいませんか。子ども達
は先生の言葉がけやかかわり方をみ
ています。子ども達一人一人を大切
にしたかかわり方をしましょう。子

どもへの接し方だけではなく、大人
同士のかわり方も子どものお手本
になります。相手の思いや一人一人
を大切に先生方の気持ちは子ども
も達だけでなく保護者にも伝わりま
す。周りの大人みんなが子ども達の
よいお手本になることが、友達を大
事にする子を育てます。また保護者
には、子どもの様子をよく見て些細
な変化を見逃さないこと、我が子の
よさを認め、かけがえのない存在で
あると伝えることの大切さを理解し
てもらいましょう。

幼児教育センターでは、保
育園研修や保護者会等に保
育アドバイザーを派遣して
います。

詳細については先ずは電
話でご相談ください。
(0270-26-9203)

また、子育てや保育の相
談も行っています。
お気軽にお電話ください。
(0270-26-9221)

た

よ

り

瑞宝双光章

きごきまち幼稚園

園長 松尾 崇憲先生

おめでとうございます

研修だより

新規採用教員研修会後期Ⅰ

とき 10月30日
ところ のびのび幼稚園

いずみ幼稚園 宇敷 早紀

新規採用教員研修会でのびのび幼稚園の
公開保育を観させて頂きました。

園に入るとすぐ、一人の先生の下で、
年少・中・長児と思われる大勢の子ども
達が鬼ごっこをする姿が目に入り、自分
自身ホッと落ち着きを感じました。

午前中はクラス毎の保育だったので年
少組を参観。そこでは敬老お楽しみ会で
歌う歌を唄っていました。祖父母の来園
を心待ちにして一生懸命練習する園児達
とその気持ちを盛り立てようと寄り添う
先生達との間に一体感を感じました。先
生方の動きや言葉掛けも適切で無駄がな
く、落ち着いている印象を受けました。

午後の学年別研究協議では午前の保育
説明をはじめ、各園長・助言の先生方か
ら貴重なお話を伺い、大変勉強になりま
した。特に発達に特徴のある子の対応で
日々悩む中、上

手に関わり対応
されている様子
を見、ポイントを教
示して頂きあり
がとうございました。
早速取り入れ
活かす努力を
していきます。



教育課程研究協議会Ⅱ

とき 11月1日
ところ 県総合教育センター

えのき幼稚園 戸井田百合子

2回目の教育課程協議会では、各園で取り組んできた研究の発表が行われました。

協議主題の特別な支援を必要とする幼児の状態等に応じた計画的、組織的な指導の在り方について、班別協議を中心として、とても効率良く協議が進められました。具体的な事例を通して、同じ課題があること、様々な配慮や工夫がわかり、とても参考になりました。その中で保護者との連携は大きな課題となっていて、改めて難しさを感じました。

後半の指導助言では、特別な支援が必要な幼児を園としてどう受け入れるか、保護者への促しについて助言を頂きました。促し方は難しいが幼児や保護者が良い方向に進んでいくために必要だと信じ、積極的に面談を行うことが重要だと強調されていました。

近年特別な支援を必要とする幼児が増加しているのは明らかです。協議会に参加させて頂き、今後の支援につながっていくよう、園全体で取り組んでいく重要性を改めて確認することができました。

第一次設置者園長研修会

とき 11月19・20日
ところ 伊香保 ホテル福一

毎年恒例の設置者園長研修会が開催されました。

本年は私学団体の県当局との大切な会議と日程がかぶり、午後からのスタートとなりました。1日目は設置者園長に加え、各市町村行政担当者の出席を頂き幼稚園側からの子ども・子育て会議のアプローチを共有して頂く会議となりました。

第1講目は「会議について」文部科学省初等中等教育局ロジエクトチーム 中井 浩二 先生による講演でした。最新の子ども子育て会議について説明する相原康人氏



最新の子ども子育て会議について説明する相原康人氏

チーム専門官 相原康人氏をお迎えし、「最新の子ども子育て会議について」と題し、国の子育て会議の進捗状況、最新情報の説明が行われました。平成27年度に大きな選択を迫られる、参加者は大きな不安と関心をもって熱心に受講されました。

第2講目は公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構代表田中雅道先生をお迎えし、「地方版子ども・子育て会議の対応について」と題し、幼稚園側からとらえた27年度の改正に対しての問題点の指摘や、私立幼稚園の課題について話されました。つづいて各市町村の行政担当者へ、各市町村での会議の進捗状況報告、意見交換が熱心に行われました。

2日目第3講目は群馬労働局雇用均等室雇用均等コンサルタント宮島敏幸氏をお迎えして「労働諸問題の対応について」の講義が行われ、幼稚園で共に働く教職員の労働環境改善により一層取り組むべ

2014年 お年玉クイズ

二字熟語組立パズル

パーツを組み合わせて二字熟語を作りましょう。

例：里+王+求+予= ^{答え}野球

〔問題〕ア 言+木+且+周=□□

① 女+平+子+言=□□

② 自+可+欠+田+サ+可=□□

③ 走+又+口+耳+未=□□

〔賞品〕

・4問全て正解の方から抽選で5,000円図書カードを3名様、1,000円図書カードを5名様にプレゼントします。

なお当選された方には、2月25日開催の第二次設置者園長研修会の折に、園長先生に賞品をお渡ししますので、園の方でお受け取り下さい。

奮ってご応募お待ちしております。

広報編集協力委員一同

〔応募方法〕 メール又はハガキに①氏名②園名③園住所④

答え⑤広報「群私幼」の感想、以上5項目をご記入の上、メールの方はgunshiyo@basil.ocn.ne.jpまで、ハガキの方は群私幼事務局(表紙に掲載)まで。

〔締め切り〕 2月5日(水) 当日消印有効

〔正解〕 166号の紙面にてお知らせいたします。



子ども・子育て会議の対応について話された田中雅道先生

を認識し、その責任の重さを感じて、この研修を終えることになりました。

(田代/記)

編集後記

掲載が遅くなりましたが、今年度より広報編集で活躍中の委員を雑誌に紹介しました。

経験のある先生と初めての先生が地区ごとに連携しながら活動し、会議の席でも活発に話し合いが行われ、和やかな雰囲気の中、内容を決め、それぞれ役割を果たしています。

今後も内容の充実を図るため、皆でアイデアを出しながら、連載中の記事や新たな企画を含め検討し進めていきたいと思っています。

広報に関し、皆様の感想等をお聞きしたいので、各委員までご意見をお寄せください。

(高月/記)

■次号166号は、平成26年3月26日(水)に発行予定です。